

第6回 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 ワーキンググループ

【全体】

1. これまでの検討状況と今後の進め方

【全体・利活用関係】

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)
3. 第1回市民参画イベント(3/27)
4. 第2回市民参画イベント(5/21)(案)

【交通処理関係】

5. 社会実験時の道路空間配分(案)
6. 社会実験における交通量調査等(案)

【全体】

7. 第6回WG後の社会実験までの予定(案)
8. 本日、ご意見いただきたい点

1. これまでの検討状況と今後の進め方

1. これまでの検討状況と今後の進め方

年度

R
3

交通処理

利活用

【R4.1.26 第2回協議会】 青葉通駅前エリアの視点、社会実験の目的、実施パターン（北側2車線、南側3車線広場化）

交通処理WG（第6回～第7回）

- ・交通量調査実施項目
- ・交通量結果の分析内容
- ・社会実験実施計画図等

利活用WG（第6回～7回）

- 【市民参画イベント】
- 【社会実験】
- ・体制
- ・ブランディング、利活用テーマ、利活用内容、スケジュール
- ・効果検証方法
- ・広報

R
4

第3、4回 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会

- ・社会実験について（交通規制、利活用、効果検証、広報等）

社会実験

引き続き協議会、WG実施

将来ビジョン骨子の作成に向けた検討

- ・社会実験の効果検証を整理
- ・求められる機能、空間の検討、将来ビジョン骨子の作成～内容の検討・深度化 等

将来ビジョン案作成

R
5

パブリックコメント

- ・将来ビジョン案に意見を反映（協議会、WG実施）

将来ビジョン策定

市民参画
イベント

- ・定期的実施。
- ・意見の確認、反映。
- ・一緒に検討できる機会創出

エリアづくりの視点

視点1「仙台の顔としてのエリア」

【視点から目指したいこと】

- ・このエリアや仙台の個性・強みを生かしながら、様々な人がこのエリアに行きたくなり、訪れる人に**仙台の第一印象として好印象**を与える、**市民が誇れるエリア**にすること
- ・エントランスの役割として、他エリア（東北、仙台市内、都心各エリア）へ導くこと。

視点2「多様な活動があふれる人中心のエリア」

【視点から目指したいこと】

- ・楽しみ、ワクワク感、居心地の良さ、暖かみ、安心感、魅力的・刺激的な経験といった**訪れる人の感情や活動を生み出し、様々な人が惹きつけられる**エリアとすること。
- ・人との交流や出会いによって、イノベーションが生まれるエリアとすること。

視点3「エリア価値向上のために挑戦するエリア」

【視点から目指したいこと】

- ・新たな魅力を生み出すことや、社会の変化に応じて変えていくことなど、このエリアにかかわる**多様な主体がエリア価値向上のためにビジョンを共有し、挑戦すること。**

1. これまでの検討状況と今後の進め方

社会実験の概要

1. 期間 令和4年10月の3週間程度

2. 目的

- ①まちにあり方検討を踏まえた「表情」を生み出し、
市民や来訪者がどのような感じ方をするかを検証、解決すべき課題を把握する
- ②まちに「表情」を生み出すための活動を行う「人」につなげる
- ③道路空間の再構築による交通への影響・効果の検証、解決すべき課題を把握する

将来ビジョンに反映

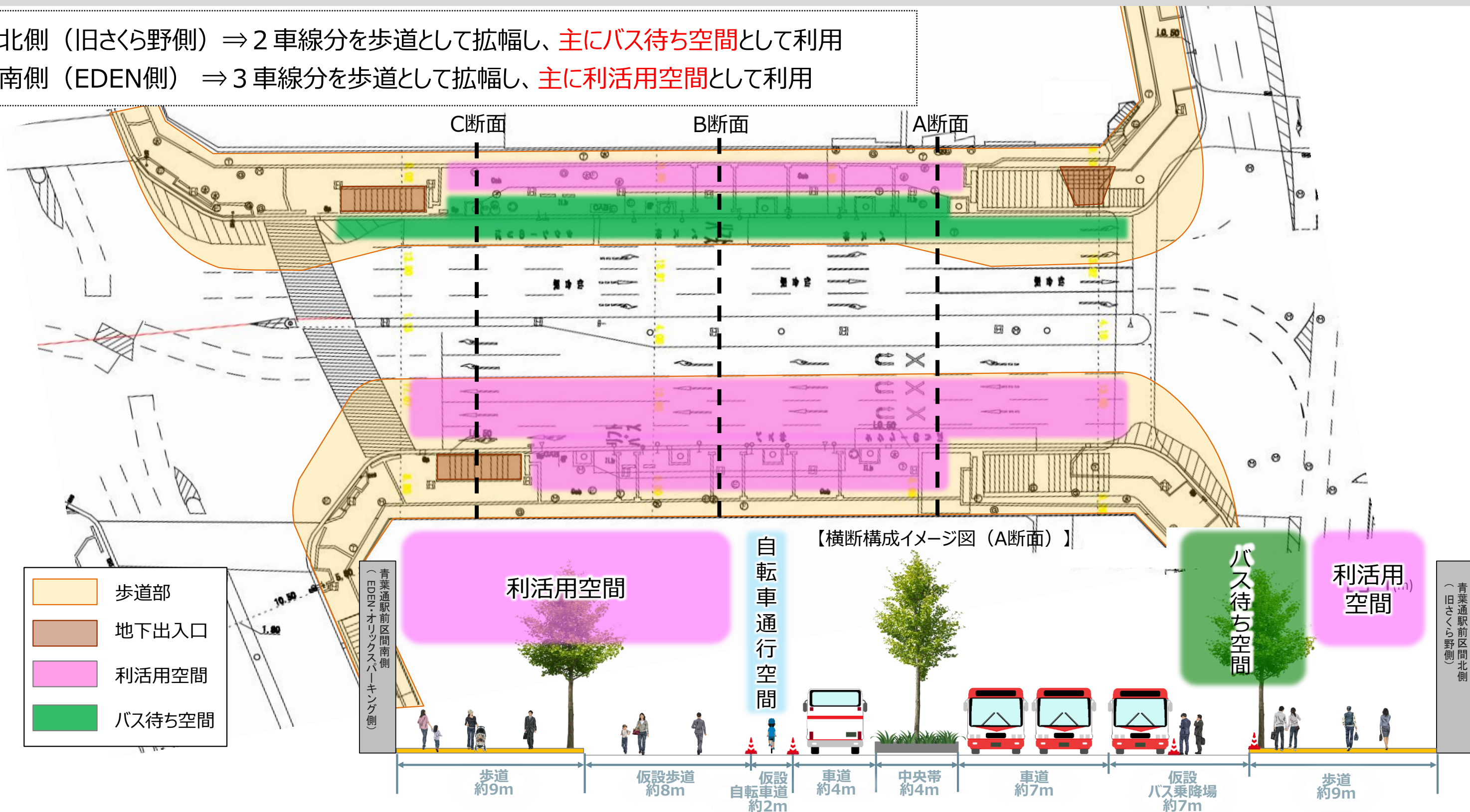
3. 利活用イメージ

- ・エリアづくりの視点や、求められる機能・空間を踏まえた利活用内容とする
- ・利活用プレイヤーは、事業者、市民参画イベントの出演予定者、参加予定者等から
随時打診を行っていく

1. これまでの検討状況と今後の進め方

社会実験案②（北側2車線、南側車道3車線広場化、平面イメージ図）

- 北側（旧さくら野側）⇒ 2車線分を歩道として拡幅し、**主にバス待ち空間**として利用
- 南側（EDEN側）⇒ 3車線分を歩道として拡幅し、**主に利活用空間**として利用



➤ **社会実験に向けた検討は、上記案をベースに関係者と協議を進め、社会実験計画（安全対策、区画線、自転車通行等）を策定する。**

※上記案は社会実験時の実施ケースとなるもので、最終の整備計画になるものではない。

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

- ・日程(案)
- ・体制(案)
- ・目的、コンセプト(タイトル)(案)
- ・利活用内容、テーマ設定の考え(案)
- ・効果検証(案)

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

日程(案)

- ・利活用期間 9月23日～10月10日 18日間(うち休日8日)
- ・期間前後3日 準備撤去

9 September 2022

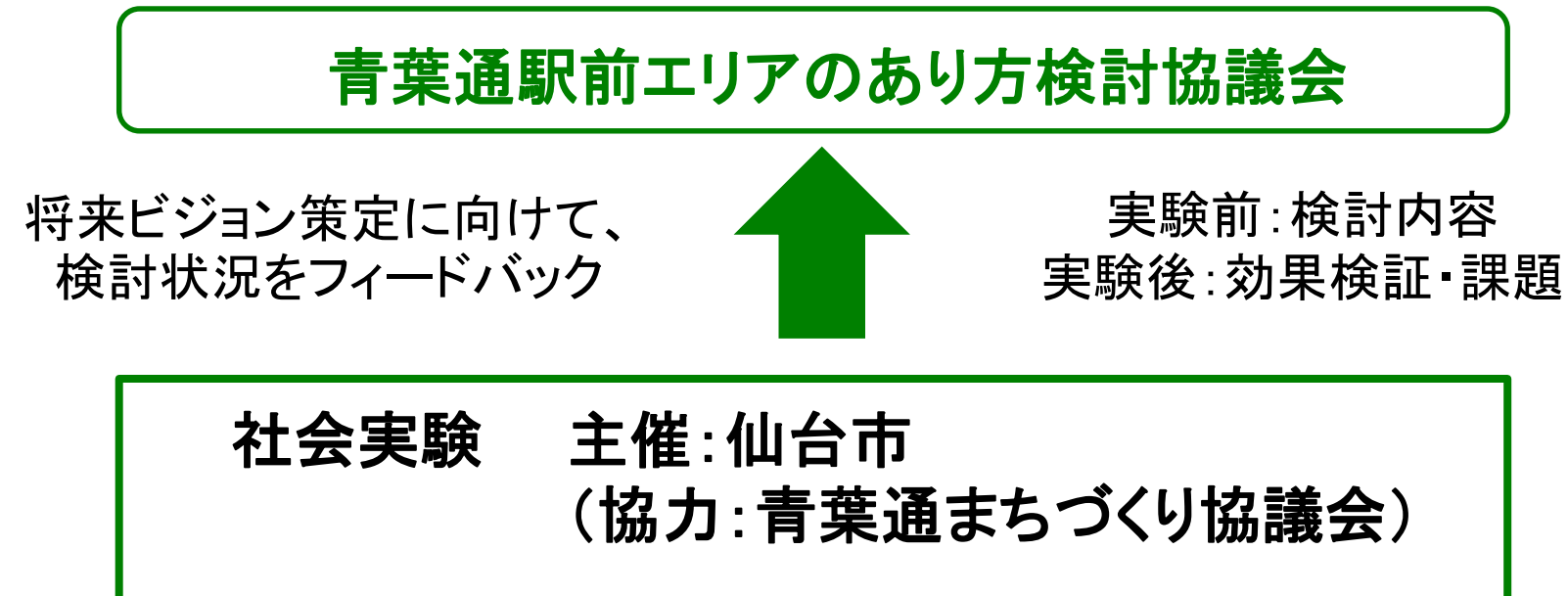
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 JAZZフェス
11 JAZZフェス	12	13	14	15	16	17
18	19	20 準備期間(区画線修正、設営物設置等)	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

10 October 2022

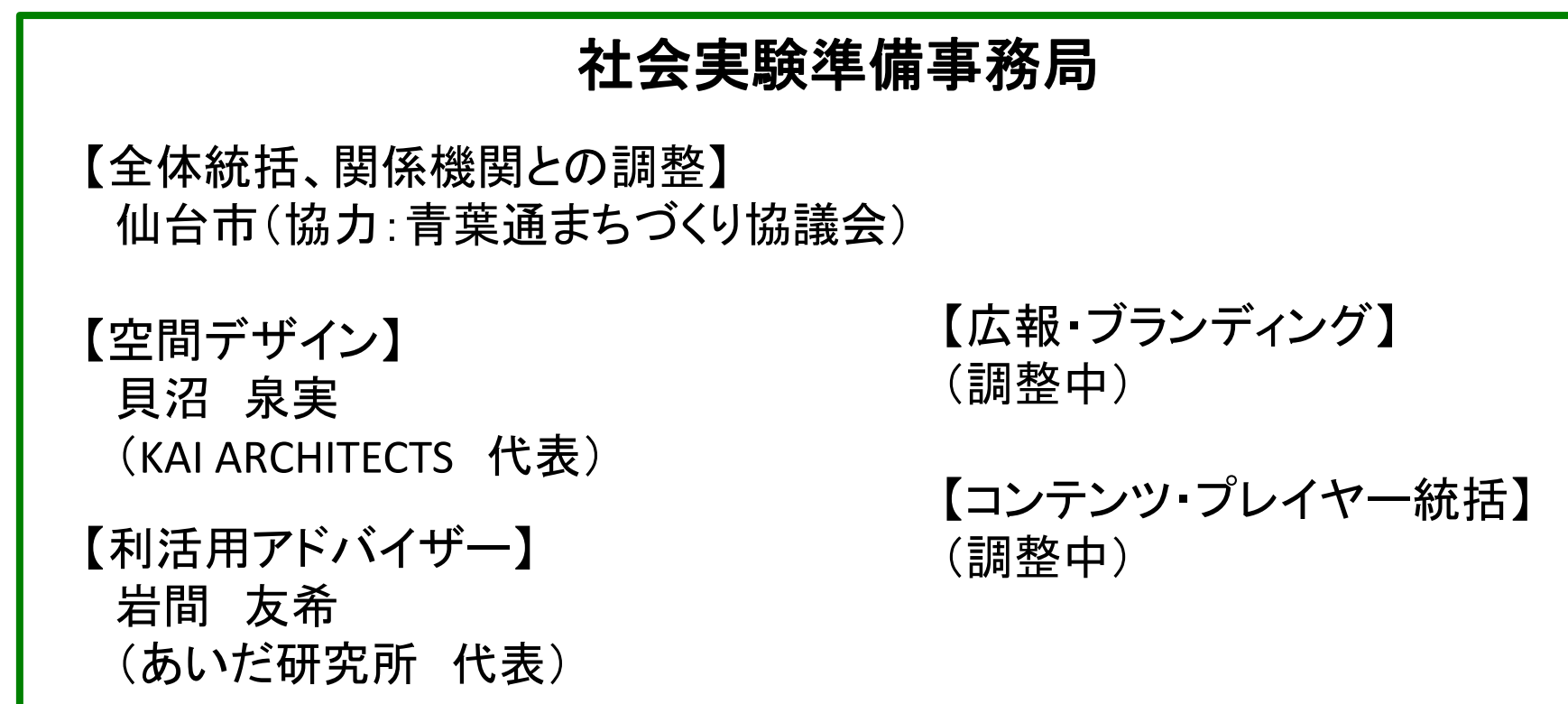
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5 社会実験	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30日 駅伝 30	31					

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

実施体制 (案)



- ・利活用に関することは「社会実験準備事務局」を中心に検討



2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

目的、コンセプト (タイトル)

1. 目的

【利活用】視点1～3を踏まえ、利活用の効果検証、課題を把握する

【交通処理】道路空間の再構築による交通への影響・効果の検証、解決すべき課題を把握する

将来ビジョンに反映

2. コンセプト (タイトル)

コンセプト(タイトル)はWGでの意見、市民参画イベントのワークショップを通じて決める

「 ○○○○○○○○○ ～青葉通駅前エリア社会実験2022～ 」

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

利活用内容、テーマ設定の考え(案)～視点、求められる機能、空間(例)から考える～

視点1:「仙台の顔としてのエリア」

- **仙台の個性や強み**を生かした機能・空間
(豊かな緑、防災環境都市、学都、文化など)
- 「おもてなし」の機能・空間
- 仙台駅を出た人が**認識しやすい**機能・空間
(特徴的な目印、サイン、アプローチなど)
- **仙台・東北を気軽に体感**できる機能
- **他のエリア**(東北、仙台市内、都心各エリア)に**導く**機能(他のエリアを案内する機能、他エリアとの連携など)
- **風が強い日、寒い日**を生かした機能・空間

視点2:「多様な活動があふれる 人中心のエリア」

- 周辺のオフィスワーカー、親子、若者など、
様々な人が**楽しめる**機能・空間
- **居心地の良さ**を感じる機能・空間
- 来訪者や周辺のオフィスワーカー等が
安心できる機能・空間
- **アクセスしやすく、移動したくなる**機能
- 音、色、匂いなど**五感を刺激する**機能・空間
- **人との交流や出会いを促す**機能・空間

視点3:「エリア価値向上のために 挑戦するエリア」

- **フレキシブルに運用できる**機能・空間
(必要に応じて歩道空間を広げるなど)
- **将来ビジョンを踏まえつつ、社会のニーズや
変化に柔軟に対応する**機能・空間
- **隣接建物との相乗効果を発揮する**機能・空間
(隣接する建物との一体性や連携)
- **新たなコトを起こし、新たな価値を生み出し
続ける**ことを意識して機能・空間を考える
- **新たなテクノロジーを積極的に活用する**こと
を意識して機能・空間を考える
- **このエリアの持続可能な運営**を意識して機能・空間を考える
(人材発掘・育成、収益事業と維持管理など)

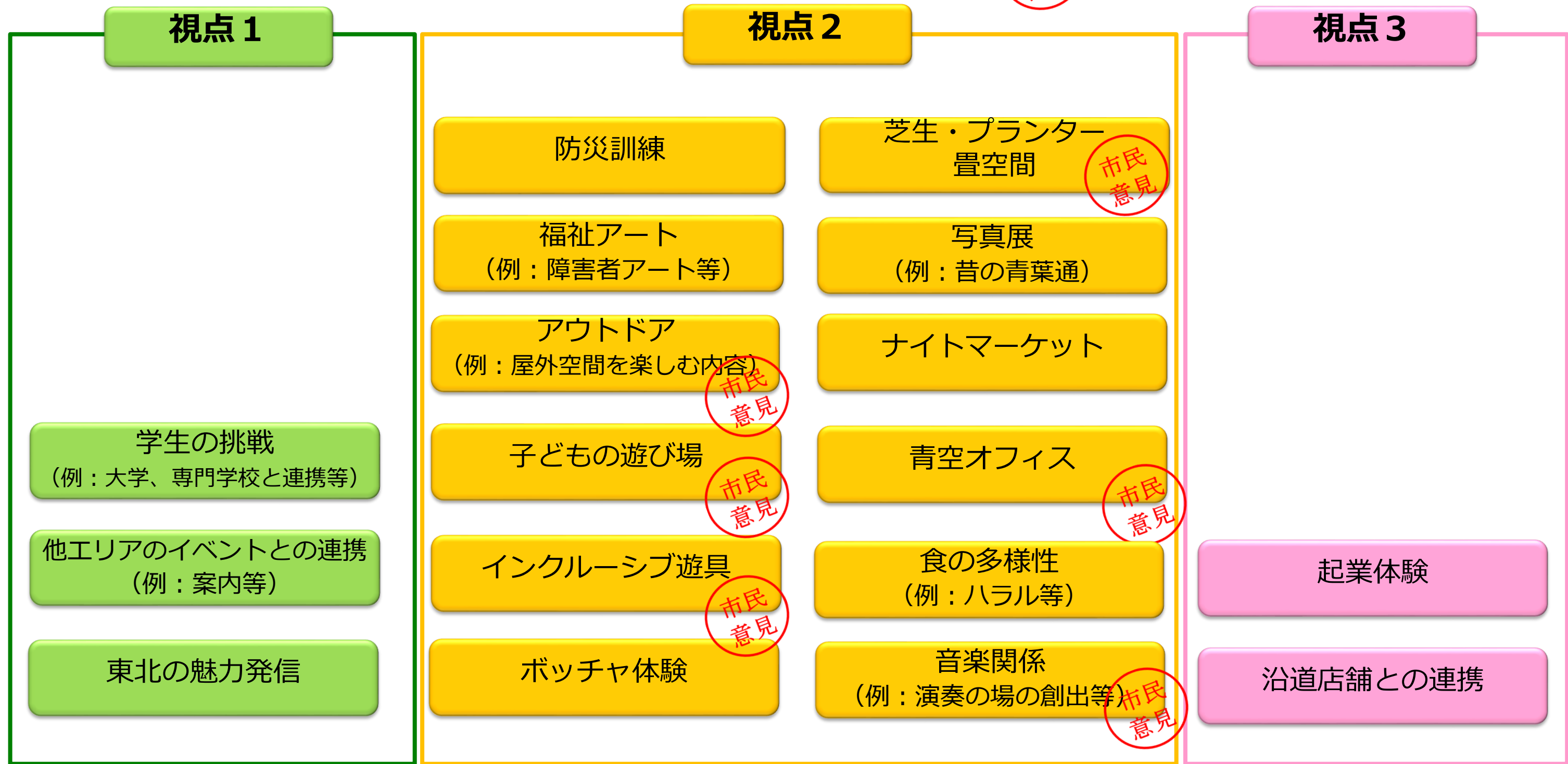
利活用内容の検討

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

利活用内容、テーマ設定の考え(案)～視点、求められる機能、空間(例)から考える～

※現時点の案であり、今後プレイヤーとの協議状況により追加・変更する場合があります

3/27 市民参画イベントで寄せられた意見



テーマ設定(例：多様性)のうえ、利活用内容を分類し、実施スケジュールを調整

2. 社会実験(日程・利活用概要)(案)

効果検証内容(案)

視点1

「仙台の顔としてのエリア」

仙台の顔、他エリアへ導く

視点2

「多様な活動があふれる人中心のエリア」

惹きつけられる

視点3

「エリア価値向上のために挑戦するエリア」

価値向上、挑戦

【目的】

- ①まちにあり方検討を踏まえた「表情」を生み出し、市民や来訪者がどのような感じ方をするかを検証、解決すべき課題を把握する
- ②まちに「表情」を生み出すための活動を行う「人」につなげる

【効果検証内容】

	検証内容	検証方法	対象者
視点1	①仙台駅前として、相応しい内容であったか ②他エリアへ導けたか	①アンケート ②データ検証(人流ビックデータ等)	
視点2	①惹きつけられる内容であったか ②また来たいか、行すべきか	①、②アンケート、 ①アクティビティ調査 (来訪者の活動を調査)	来訪者、非来訪者 (アクティビティ調査は来訪者のみ)
視点3	①価値向上につながったか ②また挑戦したいか、挑戦するうえでの課題 ③挑戦するうえで、何が必要か	①～③ ヒアリング、アンケート	①沿道店舗、地権者の方など ②プレイヤー ③プレイヤー、来訪者、非来訪者

3. 第1回市民参画イベント(3/27)

3. 第1回市民参画イベント(3/27)

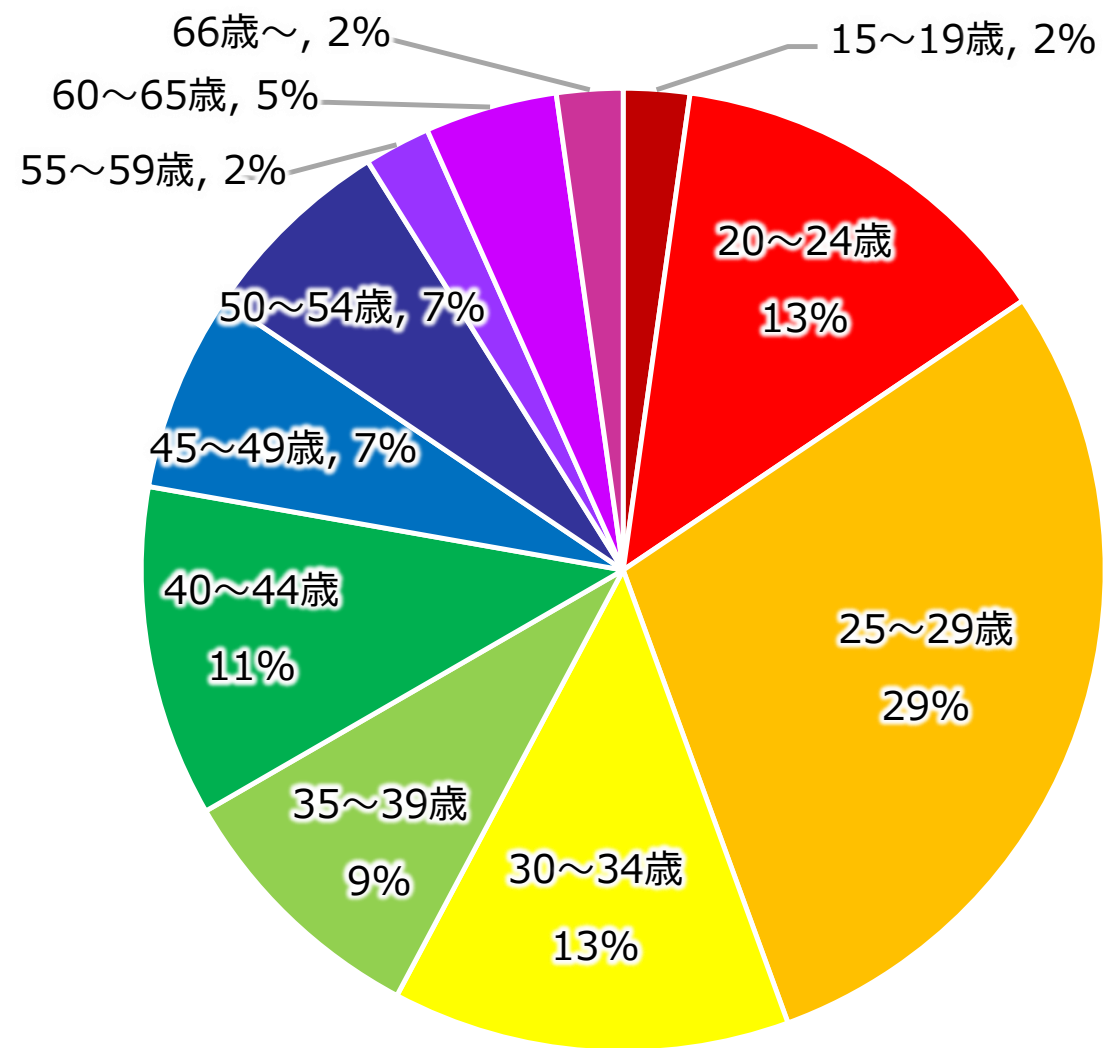
- 第1回(3月27日 @CROSS B PLUS)

11:00~18:00

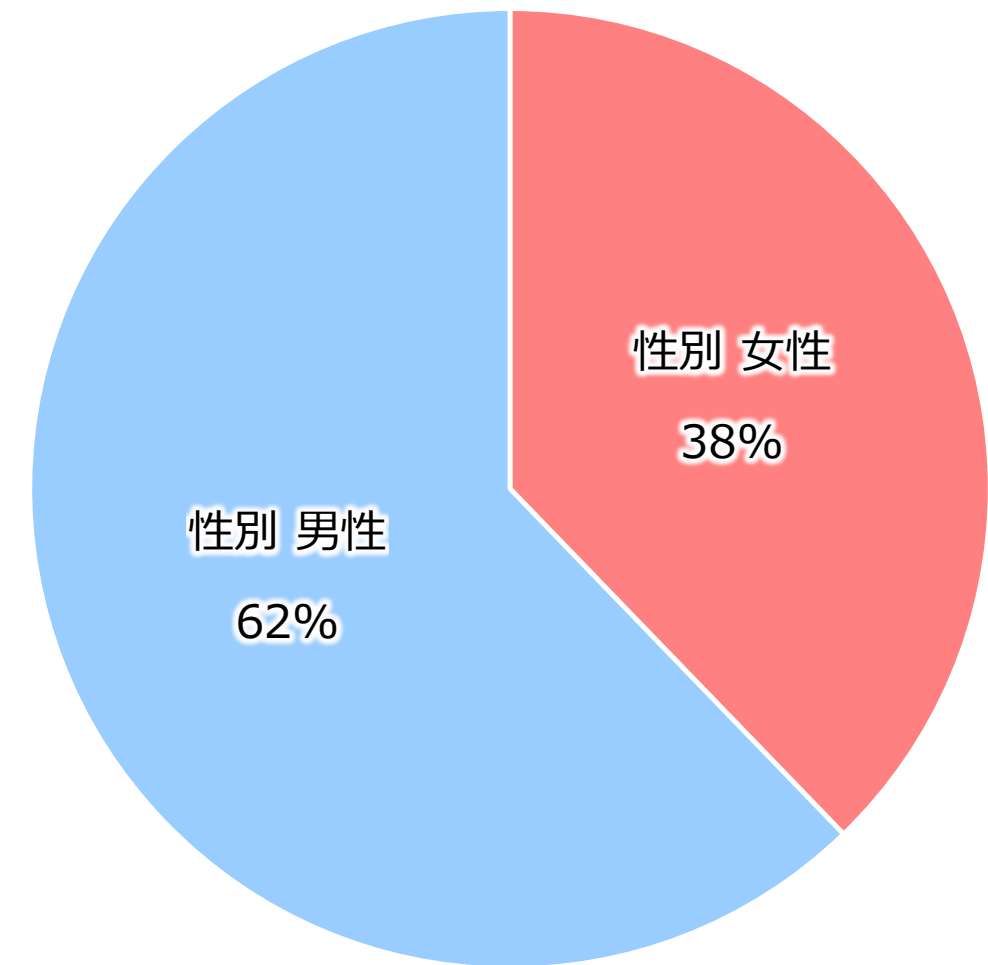
アンケート回収数 45件(アンケート内容&回答の詳細は「資料2」)

トークイベント1時間×6、各回とも20~30人参加

イベント登壇者平均35歳、来場者は半数以上が20歳~35歳



年齢



性別

3. 第1回市民参画イベント(3/27)



Q. あなたが青葉通で楽しみたいこと、したいことを自由にお書きください。

凡例: 男性回答 女性回答

●楽しみたい・したいことの見解として、「イベント」、「自然」、「休憩」、「仕事」、「交通」に関連する意見があった

	会社員	公務員	学生	自営業・会社役員・フリーランス	アルバイト・無職・その他	
アート	<ul style="list-style-type: none"> ●都会らしいハレの場の充実 ●木工系の工芸やアートの展示会等 ●デジタル動物園 ●青葉通デジタルストリート構想 	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽、ビジュアル（プロジェクションマッピング、デジタルサイネージ）。ゆったり過ごす。 ●地域または東北の魅力を知るプロモーション ●音楽や演劇を屋外空間で楽しめる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●アートワークショップ 		<ul style="list-style-type: none"> ●道路にお絵描き ●仙台を舞台にしたマンガやアニメ作品の展示会、コスプレ、オリジナル創作のフリーマーケット ●屋外シネマ 	
音楽						
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなかロープウェイで青葉通から西公園、そして仙台城へ。 ●同テーマの小さな店（北欧家具、古着屋等）が集まった横丁 ●新しい知り合いを作るイベント。ものとひとが集う仕掛け ●異業種交流 ●外国人と国際交流、多国籍料理イベント、同年代、同じ趣味を持った人たちが繋がる、集まる、多様なコミュニティ ●防災×環境ストリート ●青葉通に面したホテル（特に芭蕉の辻付近に） ●青葉通り公園化。買い物に疲れたら気軽に休憩したい。（駅前のカフェなどは埋まって座れない） ●通りで寝転んでみたい。櫂の下で日向ぼっこ ●ビジネス系の人が多い印象なので、仙台のいろんな会社の展示会（屋内or屋外） ●青空オフィス ●マイクロモビリティ（電動キックボード等）で誰でも自由に回遊できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ●インスタレーション企画 ●土日は歩行者天国 ●飲食・キッチンカー ●商店街の人たちに協力してもらって、通りに参加型ワークショップをひらく ●小さな祭り ●歩けば目新しいものを。 ●似顔絵屋さんやアクセサリーショップなどの露店。クリエイターや登録のデザイナーに縁のあるものが売られる。 ●緑や自然を感じられる空間。駅前～西公園まで緑の連続性がある風景 ●『あおぞらコワーキング』リモートワークス、ワーケーションの普及、太陽光（の力を借りた）インベーション まち全体がサテライトオフィス化 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅前でキャンプ、焚き火（直火じゃなくても） ●音楽フェス、屋台村、街コン、まちなかキャンプ、ビアガーデン、キャンプのやり方講習会、一部のスペースを貸し切って自由にイベントや出店 ●Worlds foods & music day 仙台でグローバルな旅行・経験 ●子供の遊び道具などを通して宮城や東北の木材を知る機会の提供。寒い日も楽しめる工夫（火を囲む等） ●誰もが意見を出し、街をアップグレードするコンテストやミーティング ●異業種交流 ●子供が安心して遊べ、親がくつろげる場の提供 ●昼寝 ●会話できる場 ●ワーケーション ●新しいモビリティ（電動トゥクトゥクなど）の走行 ●バリアフリー 	<ul style="list-style-type: none"> ●アートワークショップ ●青葉通で毎週地域毎に出店をし、魅力を発信していくイベント（飲食店、名産品、物品なんでも） ●定期的にイベントが行われて人が集まる機会がある。有名人がくるトークセッションや交流イベント ●コロナを気にせず過ごしたい ●空き時間や遊んでいる時に一息つけるようなフリースペース 	<ul style="list-style-type: none"> ●焚き火キャンプ ●バーベキューとか焚き火 ●定禅寺通りは、ジャズがあるので、青葉通りでは、ウェルネスイベント。 ●トラッド屋台 一箱古本市 居酒屋ラリー ●流行があるひと ●魅力的な人と待ち合わせ ●ふらっと立ち寄れるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ●街中でテントサウナを設置して整いたい。街の喧騒の中で裸になって（水着等着用）自身の身体感覚を取り戻すイベント。 ●沿道建物と連続的につなかつた道路空間でプレーパークがあり、子どもがわいわい遊び、その周りで親がビールやコーヒードrinkみながら見守る。 ●今の青葉通駅前公園化はナンセンス。もっと高い発想が必要！
体験						
交流						
自然						
休憩						
仕事						
交通						

家族空間

子どもが遊べる空間

- 沿道建物と連続的につながった道路空間プレーパークがある
- 子供が遊べる宮城や東北の木材を使った遊具がある

親も楽しめる

- 親も安心してくつろげる
- ビールやコーヒーを飲みながら見守る

働き方

- ワーケーション
- 街全体がサテライトオフィス
- 異業種交流
- 「外」で働く
- あおぞらコワーキング
- 青空オフィス
- リモートワーク

- キッチンカー
- 飲食店が並ぶ
- トラッド屋台
- 居酒屋ラリー
- 屋台村
- ビアガーデン
- ウェルネスイベントの開催
- 他都市に引けを取らない高い発想力

ほっ、と一息

- 仙台駅~西公園を歩きたくなる
- 樺並木や小さなお店などをゆったりと巡れる
- 青葉通公園化
- 一息つけるフリースペース
- 買い物の途中で気軽に休憩
- 通りでの転げる
- 日向ぼっこができる
- 昼寝ができる

- 自然
- 芝生があり、裸足でも歩ける
 - 花や木、緑があふれる
 - 駅前~西公園まで緑が続く

コミュニティ

- 新たな知り合いをつくれる
- 多様な国籍の人が集まれる
- 同じ趣味の人たちが集まれるコミュニティ

人の交流がうまれる通

会話

イベント

- 定期的なイベント
- 著名人のトークセッション
- 小さな祭り
- 商店街の人に協力してもらって参加型WS
- まちのアップデートのためのコンテストやMTGの開催
- 仙台企業の展示会
- 異業種交流

場所性

アウトドア

- キャンプ講座
- まちなかキャンプ
- 焚き火
- バーベキュー
- テントサウナで整う(水着着用)

「都会」仙台

- 都会らしいハレの場充実
- 歩けば目新しいものがある
- 太陽光イノベーション

交通・回遊性

- まちなかロープウェイ(青葉通~西公園~仙台城へとつなぐ)
- 最新のモビリティ
- 電動トクトック
- 電動キックボード
- 休日は歩行者天国

モール

- テーマが同じ小さな店を集めた横丁
- 青葉通に面したホテルがある(芭蕉の辻付近)
- 屋外シネマ
- 音楽フェス

露店

- 出店可能な空間
- 似顔絵屋
- アクセサリーショップ
- アートワークショップ

飲食

- キッチンカー
- トラッド屋台
- 居酒屋ラリー
- 屋台村
- ビアガーデン

デジタル

- デジタル動物園
- デジタルストリート
- デジタルサイネージ
- プロジェクションマッピング

お店

- 似顔絵屋さん
- クリエイターエコノミーの展開
- 道路にお絵かき
- コミケ
- アートワークショップ

アート

展示会

- 工芸の展示会
- アート展示会
- インスタレーションレンジ
- センサ代が舞台の漫画やアニメの展示

鑑賞

- 音楽
- 演劇
- 屋外シネマ

地域を発信する

- 地域、東北の魅力のPR
- 週替りで地域ごとの出店
- 子供が遊べる宮城や東北の木材を使った遊具がある

4. 第2回市民参画イベント(5/21)(案)

4. 第2回市民参画イベント(5/21)(案)

市民参画イベント (案)

○趣旨

- ・多様な人から「青葉通駅前エリアのあり方」について率直な意見を集める
- ⇒第2回は、今春仙台に来た社会人、学生
- ・イベントで行われるワークショップを通して、仙台・青葉通を知る、その過程で参加者同士のつながり、交流の場とする
- ・利活用プレイヤーの育成、発掘の「きっかけ」とする

○開催日時

- ・5月21日(土) 11時～18時(4部制)

○会場

- ・CROSS B PLUS (大町1丁目1-30 新仙台ビルディング1F)

○内容

- ・資料3をご覧ください

5. 社会実験時の道路空間の配分(案)

5. 社会実験時の道路空間配分(案)

エリアづくりの視点を踏まえ、主に利活用空間として活用できる空間を広く創出し、利活用に関する機能の実験（賑わい創出等）や検証のため道路空間を配分

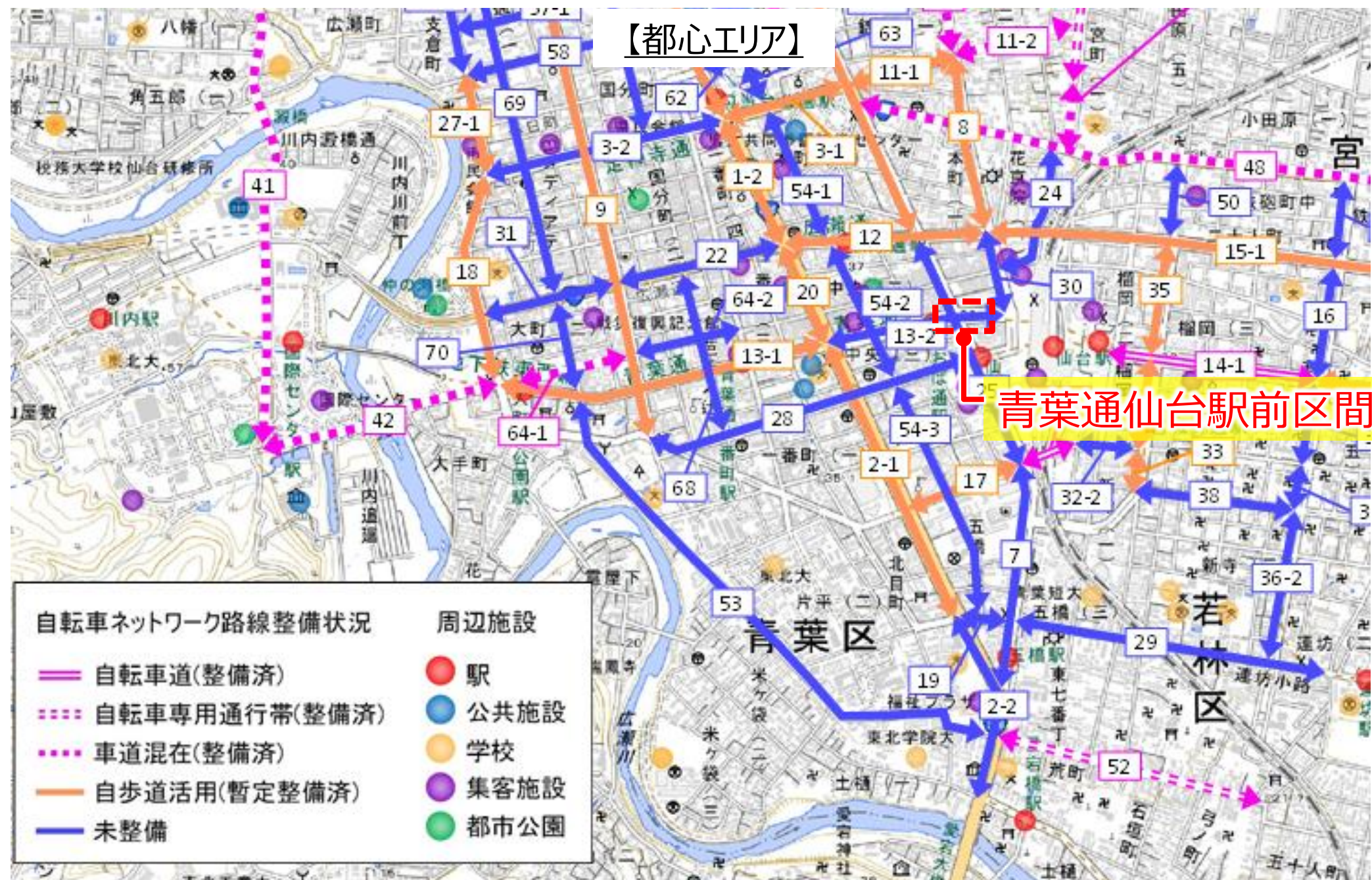
構成要素	空間配分の考え方・役割
車道	<ul style="list-style-type: none"> ・利活用空間として活用できる空間を広く創出し、利活用に関する機能の実験（賑わい創出等）や検証を実施できる可能性を広げるため、青葉通仙台駅前エリアは<u>南側を3車線減、北側を2車線減</u>とする。 ・交通機能としては、<u>一般車を通行止めとし、公共交通等を通行可</u>とする。
バス待ち空間	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉通仙台駅前エリア南側のバス停を北側に移設することで、<u>南側に広い利活用空間を創出</u>する。 ・バス停を集約した<u>北側では、削減した2車線分を主にバス待ち空間とバス停として利用</u>。
利活用空間	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な利活用を可能とすることで、賑わい創出等の利活用に関する機能の検証の可能性を広げる。 ・主に青葉通仙台駅前エリア南側に創出する空間を、エリアづくりの視点や求められる機能・空間を踏まえて利活用することで、<u>まちにあり方検討を踏まえた「表情」を生み出し</u>、市民や来訪者がどのような感じ方をするかを検証するとともに、<u>まちに「表情」を生み出すための活動を行う「人」につなげる</u>。
歩行者空間	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉通仙台駅前エリアの南北両側とも道路空間配分を見直すことで<u>現況より広い歩行者空間を創出</u>。
自転車の走行空間	<ul style="list-style-type: none"> ・『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』や『仙台市自転車の安全な利活用推進計画』等の関連ガイドライン・計画及び周辺道路との連続性、動線等を踏まえて、<u>南側の拡幅した歩道と車道の間</u>に<u>双方向通行の自転車道を設置</u>する。 <p>※次頁以降参照</p>

5. 社会実験時の道路空間配分(案)

自転車の走行空間の考え方

- ・自転車の走行空間を検討する上で基本となる『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』や『仙台市自転車の安全な利活用推進計画』の考え方等を踏まえ検討

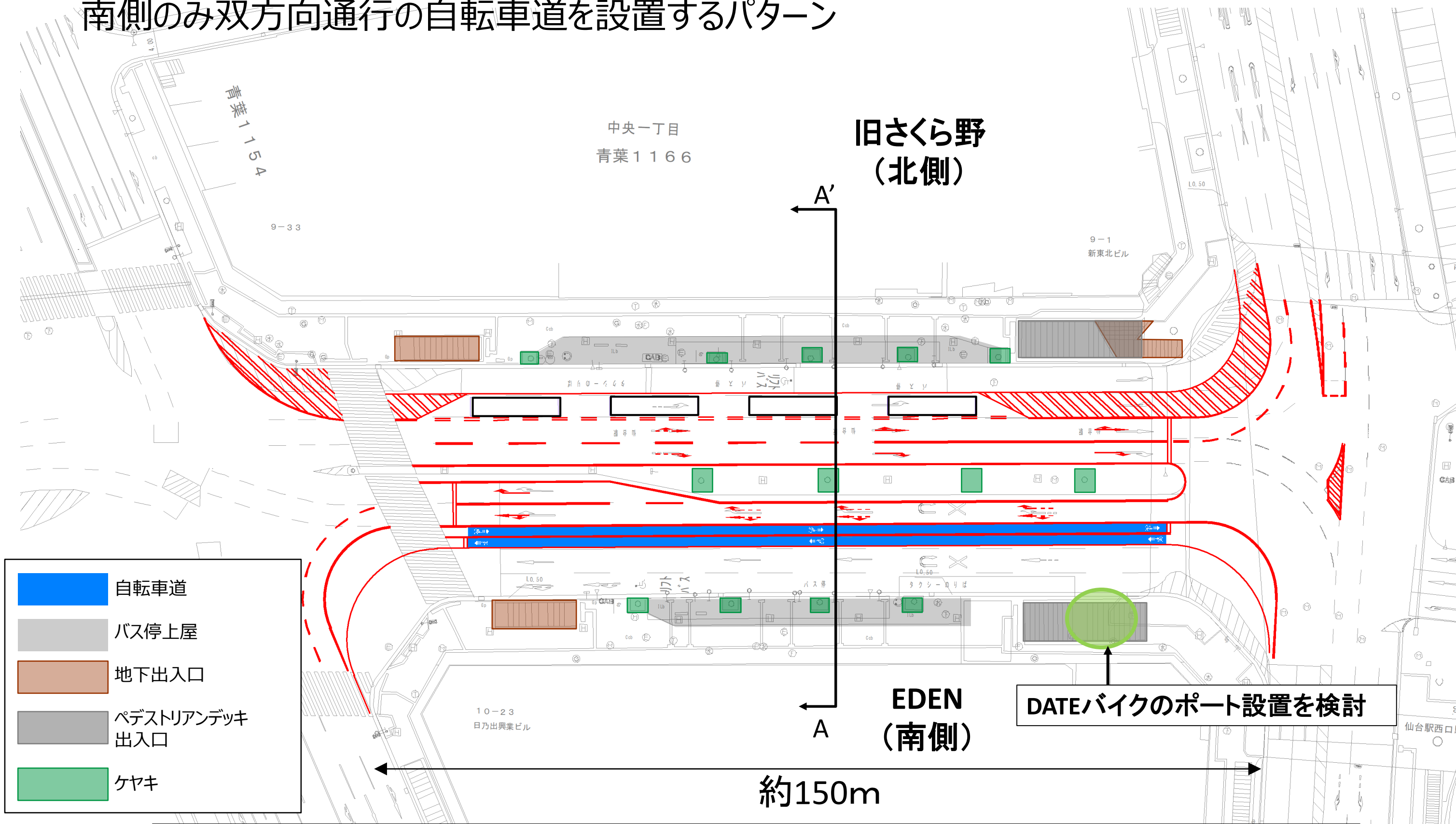
当該エリアは『仙台市自転車の安全な利活用推進計画』において自転車ネットワーク路線※に位置付けられている。
※都心部で優先的に整備する路線



5. 社会実験時の道路空間配分(案)

＜社会実験での検証案の平面図＞

南側のみ双方向通行の自転車道を設置するパターン

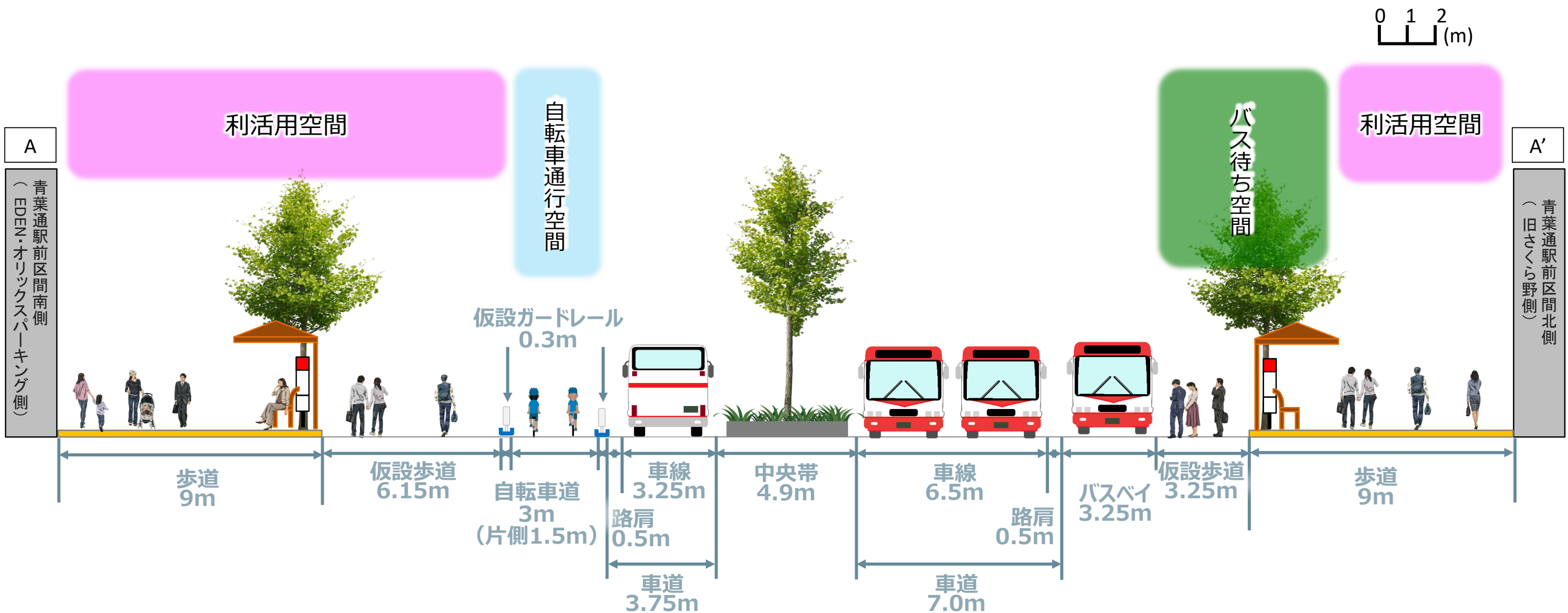


➤ 社会実験に向けては上記案を基本として、実施計画図を策定する。

5. 社会実験時の道路空間配分(案)

＜社会実験での検証案の横断構成イメージ＞

南側のみ双方向通行の自転車道を設置するパターン



5. 社会実験時の道路空間配分(案)

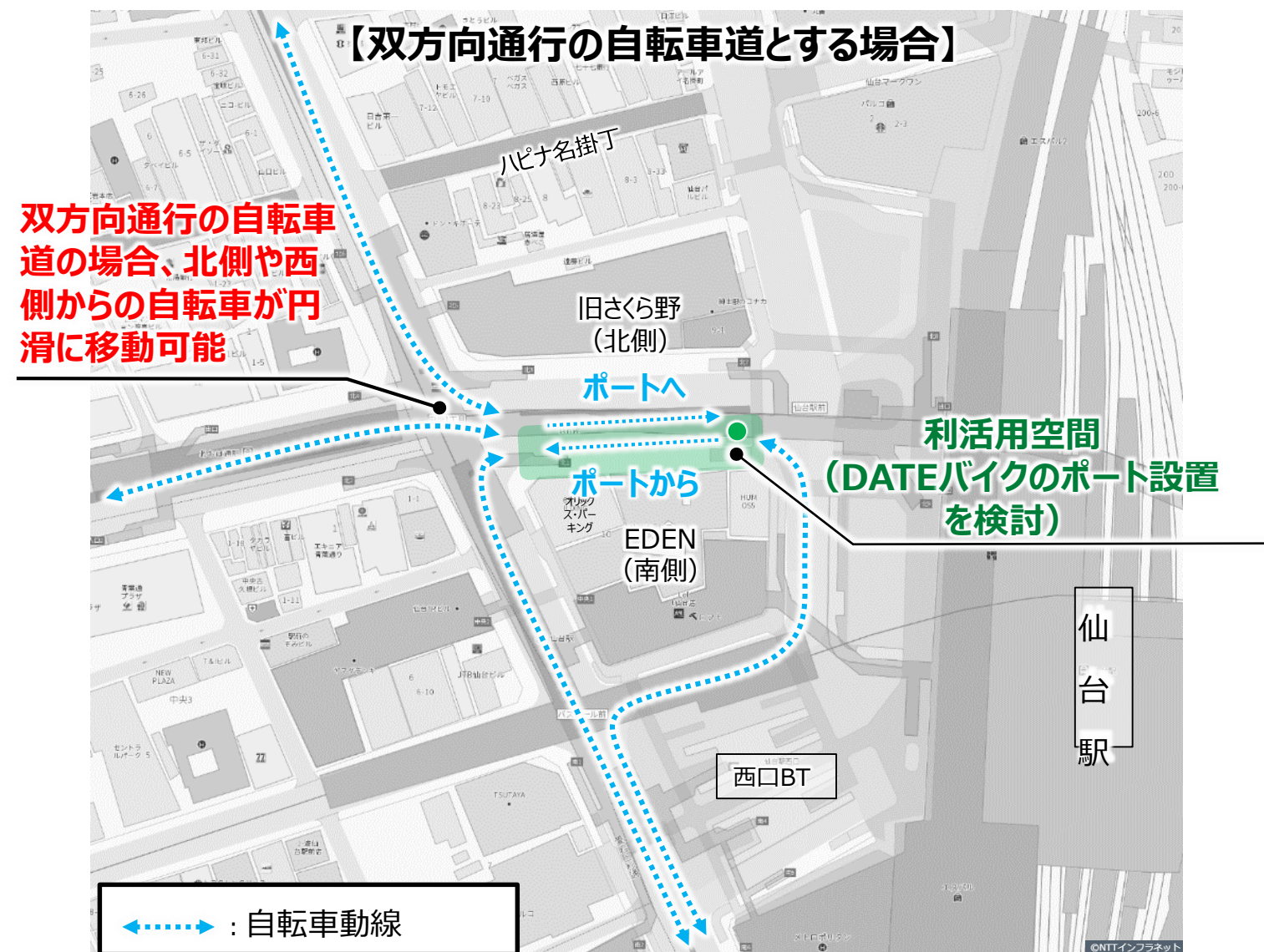
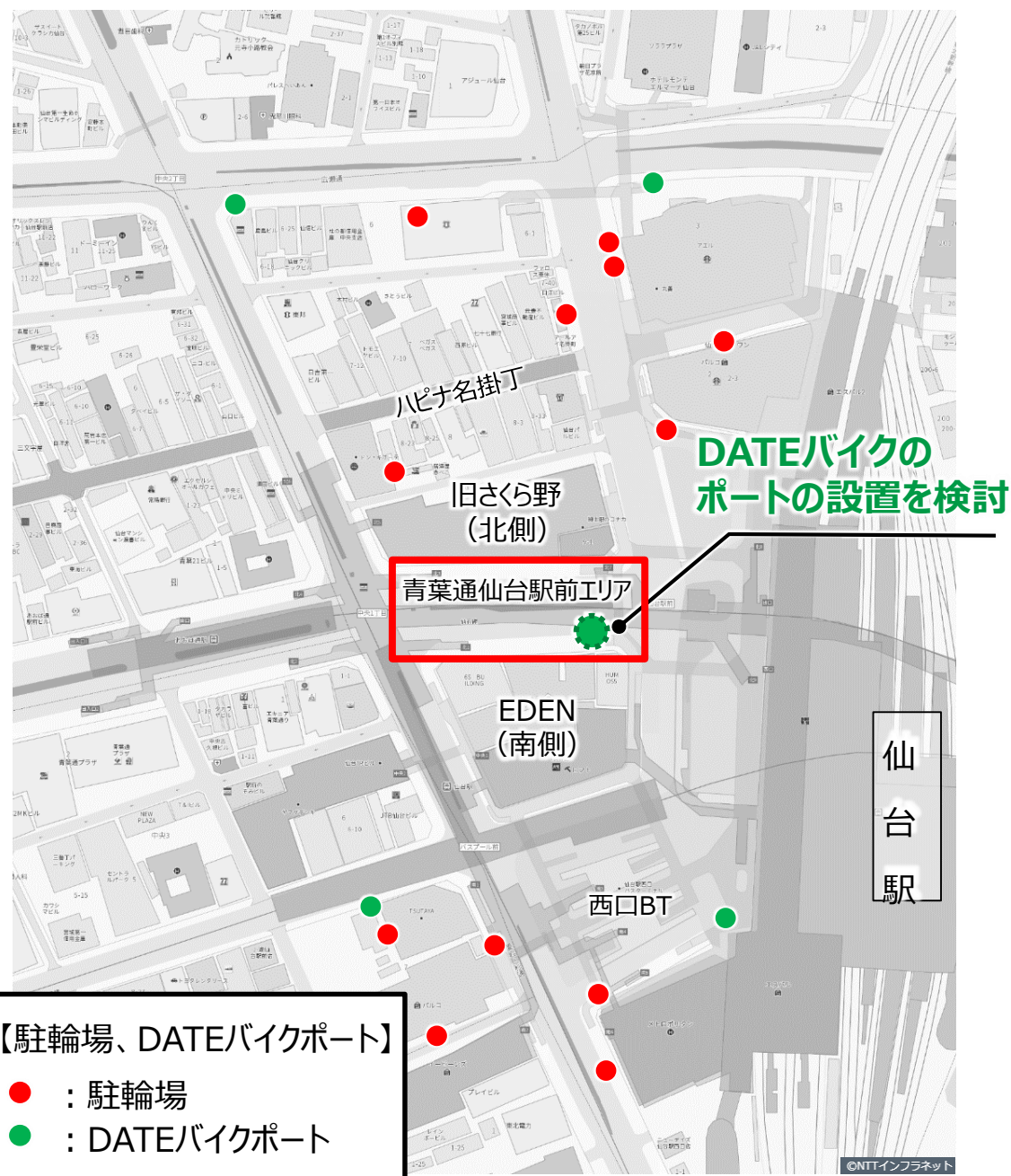
青葉通仙台駅前周辺での自転車の利用環境について

〈青葉通仙台駅前エリア周辺の駐輪場およびDATEバイクポート位置〉

- 北側は主にドン・キホーテ横やPARCO、AER付近に駐輪場がある。
- 南側は主にPARCO2、ホテルメトロポリタン仙台付近に駐輪場がある。
- 青葉通周辺にはDATEバイクポートがない。

〈青葉通仙台駅前エリア南側への自転車でのアクセス動線〉

- 双方向通行とすることで、北側や西側からの自転車が円滑に移動することが可能。
- 周辺エリア間との移動手段として、南側にDATEバイクポート設置を検討



5. 社会実験時の道路空間配分(案)

〈社会実験実施時の自転車利用環境の必要性について〉

〈社会実験実施時の自転車利用環境の必要性〉

- 利活用の実施により、歩行者と自転車が増加した場合、両者が交錯することが懸念されるため、歩行者と自転車の走行空間の分離（安全性確保）が必要
- 利活用により移動需要の増加が想定されるため、回遊手段としての活用が想定

〈社会実験時の自転車の利用環境の設置〉

- 南側に歩行者空間と自転車の走行空間を構造的に分離するため、自転車道を設置
- 南側への自転車アクセス動線を考慮し、双方向通行の自転車道を設置
- 周辺エリア間との移動手段として、DATEバイクのポート設置を検討
- 北側は構造上分離することが困難なことから、北側には自転車道は設けず、現況通りとし、自転車は歩道上で押し歩き通行

南側のみ双方向通行の自転車道を設置するパターンで社会実験を実施

6. 社会実験における交通量調査等(案)

6. 社会実験における交通量調査等(案)

社会実験時の交通への影響・効果の検証及び解決すべき課題等を把握する目的として、交通量調査等を実施し、道路空間再構成の可能性及び新たな施設整備の必要性を検証

調査目的

➤ 一般車通行止めによる周辺道路に与える影響を検証

➤ 利活用実施による人流等の変化を検証

➤ 新たな施設整備の必要性を検証

調査項目

- 交通量調査
- 渋滞長・滞留長調査
- 旅行速度調査
- 路線バス運行状況調査
- 交通挙動調査

- 歩行者・自転車交通量調査
- 人流ビッグデータ

- 自転車走行空間に関する調査
- 駐停車台数調査
- 荷さばき調査
- タクシー状況調査

社会実験の評価

- 一般車通行止めによる交通への影響(混雑等)はあったか
- 社会実験を実施したことで新たに分かった問題・課題はあったか
- 問題・課題への改善策はあるか
- 想定していた効果(回遊向上等)は得られたか。
- 自転車道の設置は効果的であったか
- 違法路上駐車による影響はあったか
- 荷さばきスペースは不足していないか
- タクシー乗り場の配置は適切か

道路空間再構成の可能性及び新たな施設整備の必要性を検証

6. 社会実験における交通量調査等(案)

社会実験時に実施する交通量調査等の項目及び概要

表1 調査項目

調査名	調査概要
交通量調査	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺交差点において自動車類の方向別交通量調査 ・調査時間帯：7時～19時
渋滞長・滞留長調査	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点において、渋滞長・滞留長の調査 ・調査時間帯：（平日、休日）ピーク時間
旅行速度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・車両走行による実測で所要時間を計測 ・調査時間帯：（平日、休日）ピーク時間
歩行者・自転車交通量調査	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺歩道および交差点において歩行者・自転車の交通量調査 ・調査時間帯：7時～19時
自転車走行空間に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験エリア内で歩道及び車道を走行する歩行者・自転車ビデオ撮影し、走行軌跡及び錯綜状況を計測 ・調査時間帯：（平日、休日）ピーク時間
駐停車台数調査	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅周辺において全ての自動車類の路上駐停車台数を調査 ・調査時間帯：7時～19時（調査員が1時間ごとに対象区間を周回し計測）
荷さばき調査	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅周辺において荷さばき車両の種別、台数(営業、非営業ナンバー及び貨物車等)ごとに調査
タクシー状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅周辺のタクシー乗り場毎の乗降客数を人手によりカウント ・調査時間帯：7時～19時 ・タクシー事業者（運転手）に対して、社会実験に関するアンケート調査
路線バス運行状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス事業者のトラフィックカウンターデータを用いて所要時間を調査 ・調査時間帯：8時台、18時台 ・バス事業者（運転手）に対して、社会実験に関するアンケート調査
交通挙動調査	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験エリアに流入する交差点において車両をビデオ撮影 ・調査時間帯：朝・夕ピーク時間
人流ビッグデータ	人流ビッグデータにより通過・滞在データの移動経路を分析・可視化

6. 社会実験における交通量調査等(案)

社会実験で得られた交通量調査結果をもとに、交通の影響や課題を分析・評価

表2 調査項目毎の分析概要

調査項目	分析概要
交通量調査	・実験前、期間中の 交差点解析（交差点需要率、交差点容量比等） を実施し、変化について考察し、その要因を検証
渋滞長・滞留調査	・ 実験前、期間中の渋滞長、滞留長の変化 について考察し、その要因を検証
旅行速度調査	・ 実験前、期間中の旅行速度の変化 について考察し、その要因について検証
歩行者・自転車交通量調査	・ 実験前、期間中の歩行者の変化について考察 し、人流ビッグデータの移動実態・周辺行動のデータも考慮し、実験による効果を検証
自転車走行空間に関する調査	・ビデオ撮影したデータをもとに、 自転車と歩行者、自転車と自動車の錯綜率を求め 、社会実験エリアにおける 自転車走行空間のあり方を検討
駐停車台数調査	・道路上駐停車車両の実態を分析し、交通への影響等について検証し、 今後の違法路上駐車対策の方策を検討
荷さばき調査	・荷さばき駐車および荷さばき作業の状況を把握し、 荷さばきスペースの有効性や課題、新たな施設導入の必要性等について検討
タクシー状況調査	・乗客数や社会実験に関するアンケート結果から検証・考察を行い、 将来整備に向けた適切なタクシー乗場の配置等について検討
路線バス運行状況調査	・バス運行データを用いて、実験前と期間中の所要時間の変化を解析し、 路線バス運行への影響について検証・考察
交通挙動調査	・トランジットモールによる 一般車通行止めの影響について交通挙動の指標にもとづき要因を分析 し、改善策を検討 ※主な指標：接触事故の要因となる急な車線変更回数、追突事故の要因となる急停止や急制動、一般車の誤侵入等
人流ビッグデータ	・各地点を対象とする滞在分析を行い、その結果を用いて 仙台駅周辺通過・滞在データの移動経路を分析・可視化し、移動人数を集計

6. 社会実験における交通量調査等(案)

調査時期は「社会実験前（平常時）」「社会実験2週目①」「社会実験2週目②」「社会実験3週目」で実施

表3 調査項目毎の調査時期

調査項目	社会実験前 (平日)	社会実験前 (休日)	社会実験 2週目① (平日)	社会実験 2週目① (休日)	社会実験 2週目② (平日)	社会実験 3週目 (平日)	社会実験 3週目 (休日)
交通量調査	○	○	○	○	○	○	○
渋滞長・滞留調査	○	○	○	○	○	○	○
旅行速度調査	○	○	○	○	○	○	○
歩行者・自転車交通量調査	○	○	○	○	—	○	○
自転車走行空間に関する調査	○	○	○	○	—	○	○
駐停車台数調査	○	○	○	○	—	○	○
荷さばき調査	○	○	○	○	—	○	○
タクシー状況調査	○	○	○	○	—	○	○
路線バス運行状況調査	○	○	○	○	—	○	○
交通挙動調査	—	—	○	—	—	○	—
人流ビッグデータ	社会実験前・実験中の1ヶ月程度を想定						

○：調査実施、—：調査不要

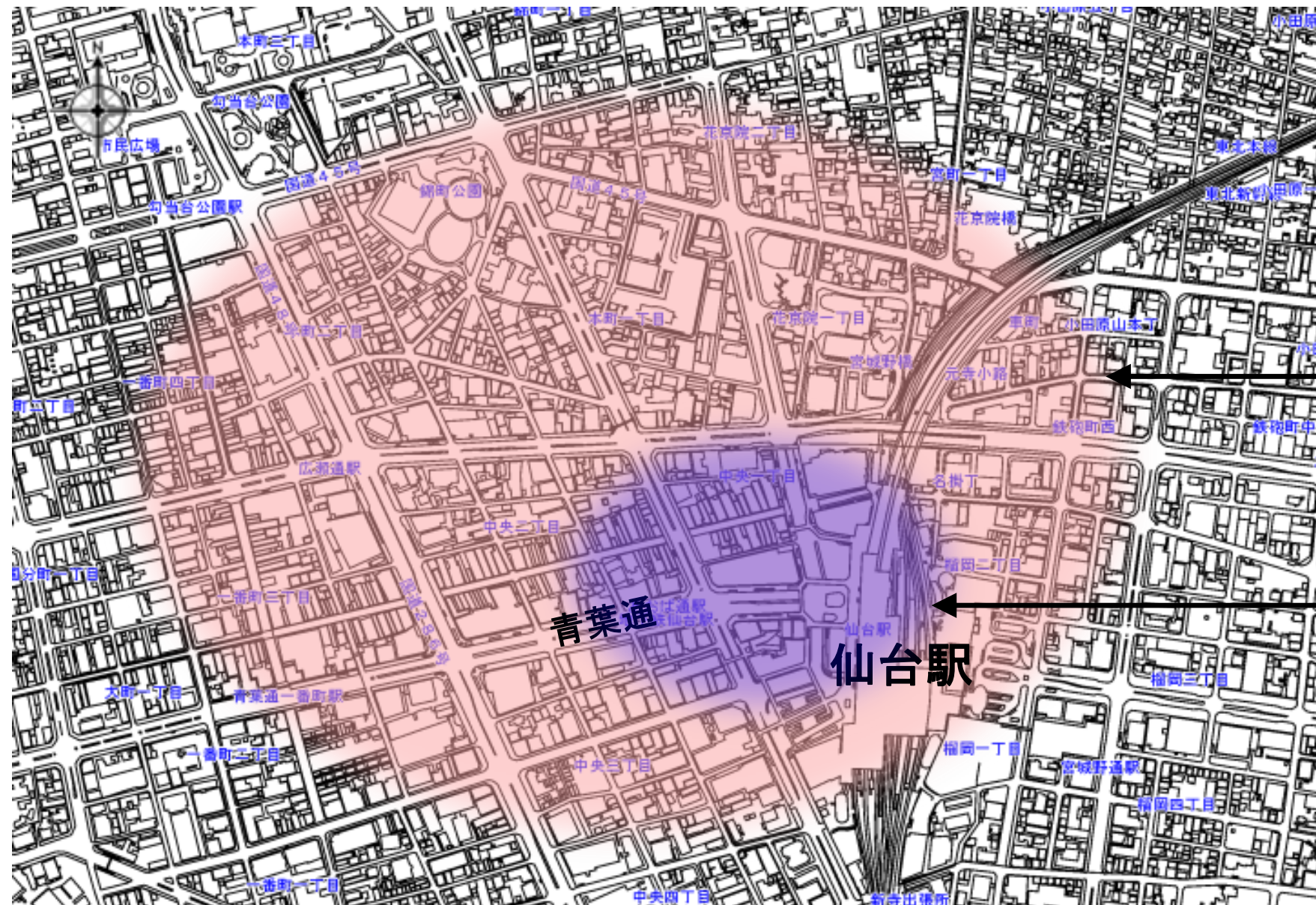
6. 社会実験における交通量調査等(案)

交通量調査等の対象エリア

交通量調査等の実施箇所選定について

- 交通シミュレーション結果から、迂回ルートとして選択されると想定される交差点及び路線
- 社会実験エリア周辺の主要な路線及び交差点

図1 交通量調査等予定エリア



交通量、渋滞長・滞留長、旅行速度、歩行者・自転車、路線バス運行状況調査の想定エリア

駐停車台数調査、荷さばき調査、タクシー状況調査については青葉通仙台駅前エリア周辺エリア

交通量調査等を実施するエリアについては、今後の協議調整により変更となる可能性がある。

7. 第6回WG後の社会実験までの予定(案)

7. 第6回WG後の社会実験までの予定(案)

		令和4年度						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
交通処理	交通事業者、交通管理者協議	交通規制、高速バスの移転協議等						
	車線規制・周知				広告物作成		周知看板設置 広告掲載	
利活用	利活用内容等	利活用の調整(内容、テーマ設定、日程・場所の割り当て等)			各プレイヤーの準備期間			社会実験 9/23～ 10/10 18日間 平日10日 休日8日 準備期間 9/20～ 9/22 3日間 撤去期間 10/11～ 10/13 3日間
	設営物の手配			利活用内容に応じた設営物(テント、芝生、椅子等)				
	効果検証方法の検討	利活用内容を踏まえた交換検証方法検討						
	関係者との協議			道路占用・使用、保健所等				
	広報(HP、SNS)		HP、SNS準備	社会実験に向けた取り組み過程、市民参画イベントの内容			利活用内容、詳細スケジュール	
	市民参画イベント		5/21(土)					
	協議会・WG		合同WG ○	合同WG ○	協議会 ●	協議会 ●		

8. 本日もご意見いただきたい点

8. 本日、ご意見いただきたい点

【利活用 関係】

- ・本日までご説明させていただいた内容全般について

【交通処理 関係】

- ・交通量調査等の実施項目に対して、実施すべき項目等について、各委員の視点からご意見をいただきたい。